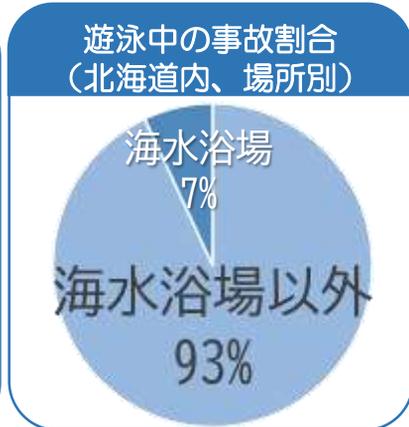
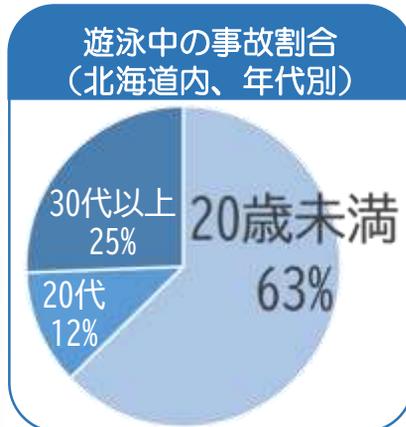
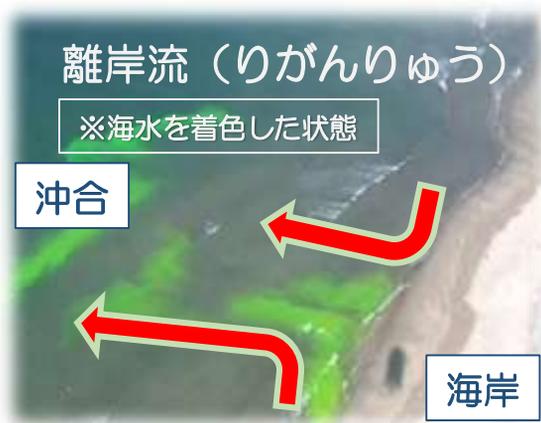


保護者の皆様へ

海で安全に楽しむために

北海道では、過去5年に43名の方々が遊泳中に事故に遭っており、その約6割が20歳未満の子供たちです。

海には「危険な流れ（離岸流）」や「深み」など、目で確認することが出来ない危険があります。海水浴など、海辺で活動する場合は**お子様から目を離さず**、万が一に備えて監視員やライフセイバーが常駐する「海水浴場」を利用し、安全に十分配慮してください。



中・高生の保護者の皆様へ

お子様が友人同士で海水浴へ出掛ける場合などには、保護者の方から以下の指導をお願いします。

●遊泳は、海水浴場を利用すること

海水浴場以外では…

- ・監視・救助体制が整っていない。
- ・水上オートバイ、ボートなどが航行している。

●風や波が強いときや、体調が悪いときは海に入らない！

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報はこちら

海上保安庁ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁



●海水浴場一覧はこちら



北海道

海水浴場情報

危機対策課・スポーツ振興課



海で安全に楽しむために

中・高生用

目に見えない危険を知り、安全な場所を選びましょう！



遊泳中の事故割合
（北海道内、場所別）



❌ 離岸流、突発的な大波

海には、場所によって海岸から沖に向かう目に見えないとても速い流れ（離岸流）があり、これに巻き込まれると、一気に沖へと流されてしまいます。

万が一、突然沖合まで流されたとか、いくら泳いでも陸岸に近づけないなど感じたときは、離岸流に巻き込まれている可能性があるため、まずは岸と平行に泳ぎ、沖に向かう流れから抜け出すようにしましょう。

また、一見穏やかに見える海も、突然大きな波が発生することがあるので注意しましょう。

❌ 深みの存在

海の中の地形は一定ではなく、突然深くなる場所があります。また、海流などの影響で海の深さは容易に変わり、以前は浅かった場所でもある日突然深くなっている場合があります。

❌ 海水浴場以外の場所

海水浴場以外の海では、水上オートバイやボートなどの船舶が航行しており、接触の危険があるほか、監視員やライフセイバーがいないため、万が一事故にあったとしても気づかれず、すぐに助けてもらえません。

遊泳は、万が一のときの救助体制が整っている海水浴場を利用しましょう。

海を知り、無理をせず、安全に楽しみましょう。

海水浴場の開設情報は、北海道庁ホームページにて公開されています。

●海の安全情報はこちら

海上保安庁ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁



●海水浴場一覧はこちら



北海道

海水浴場情報

危機対策課・スポーツ振興課

